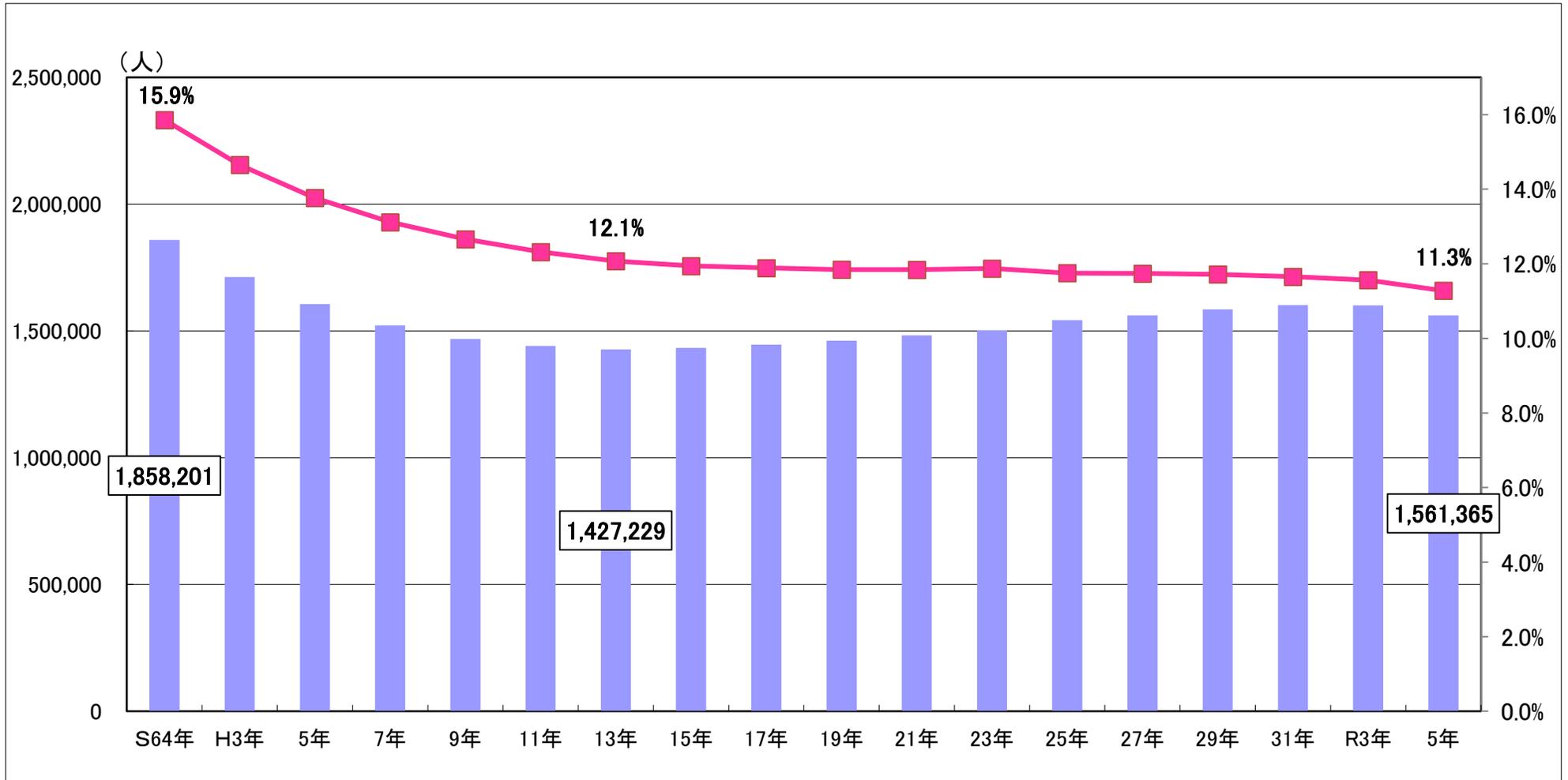


基礎データ集

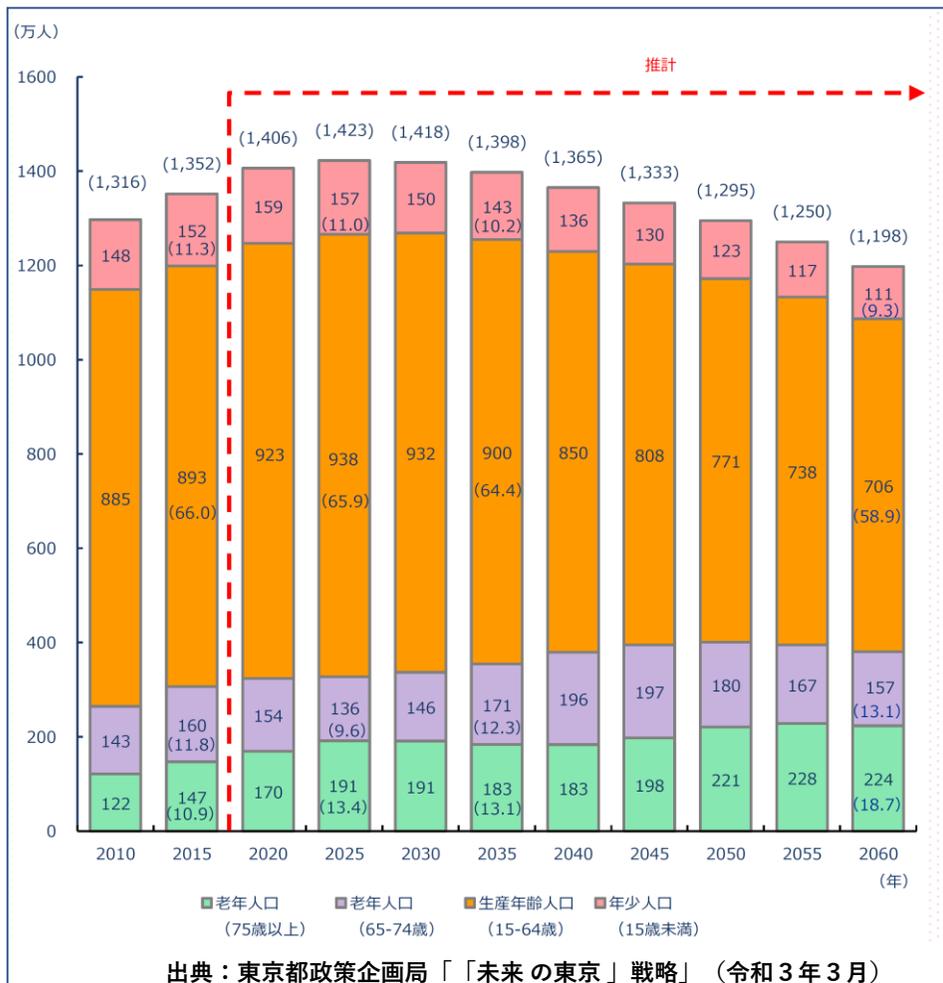
1 年少人口について①



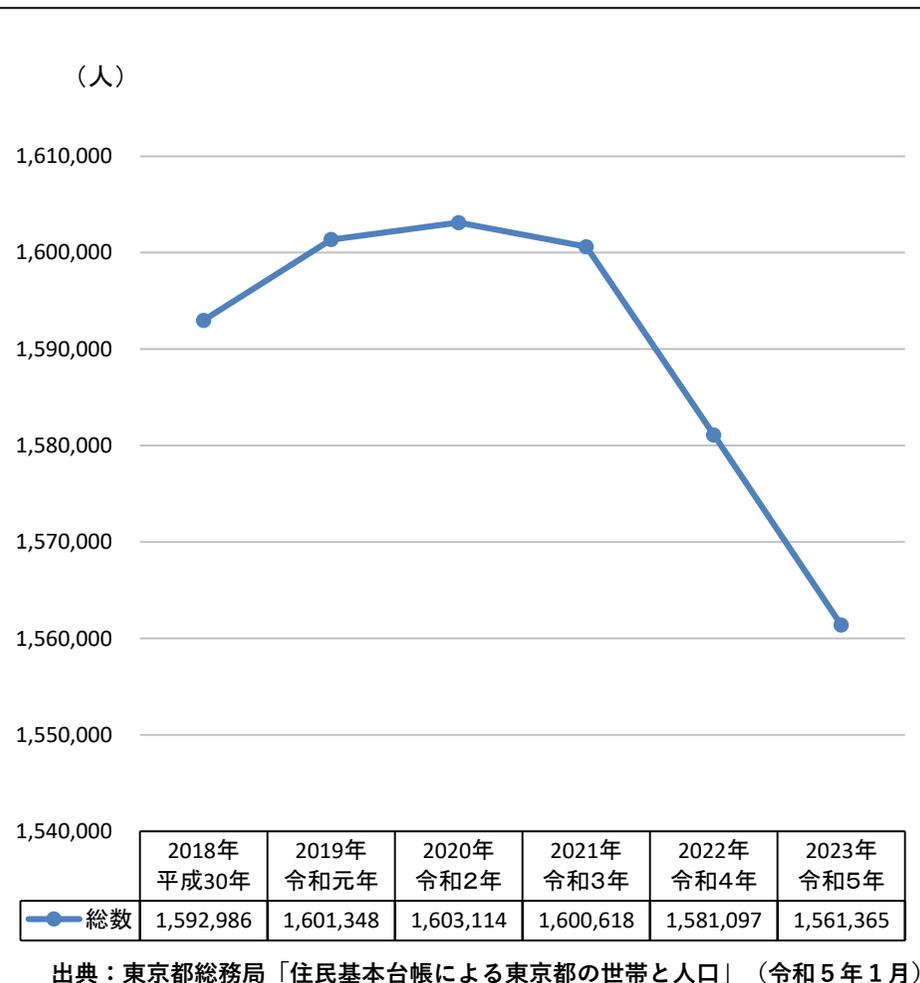
出典：東京都「住民基本台帳による東京都の世帯と人口」（各年1月1日）

1 年少人口について②

【年齢階級別人口の推計】



【年少人口の推移】



2 小児科医師数について（推移①）

【東京都における主たる診療科を小児科とする医師数 推移】

(人)

3,000

2,500

2,000

1,500

1,000

500

0

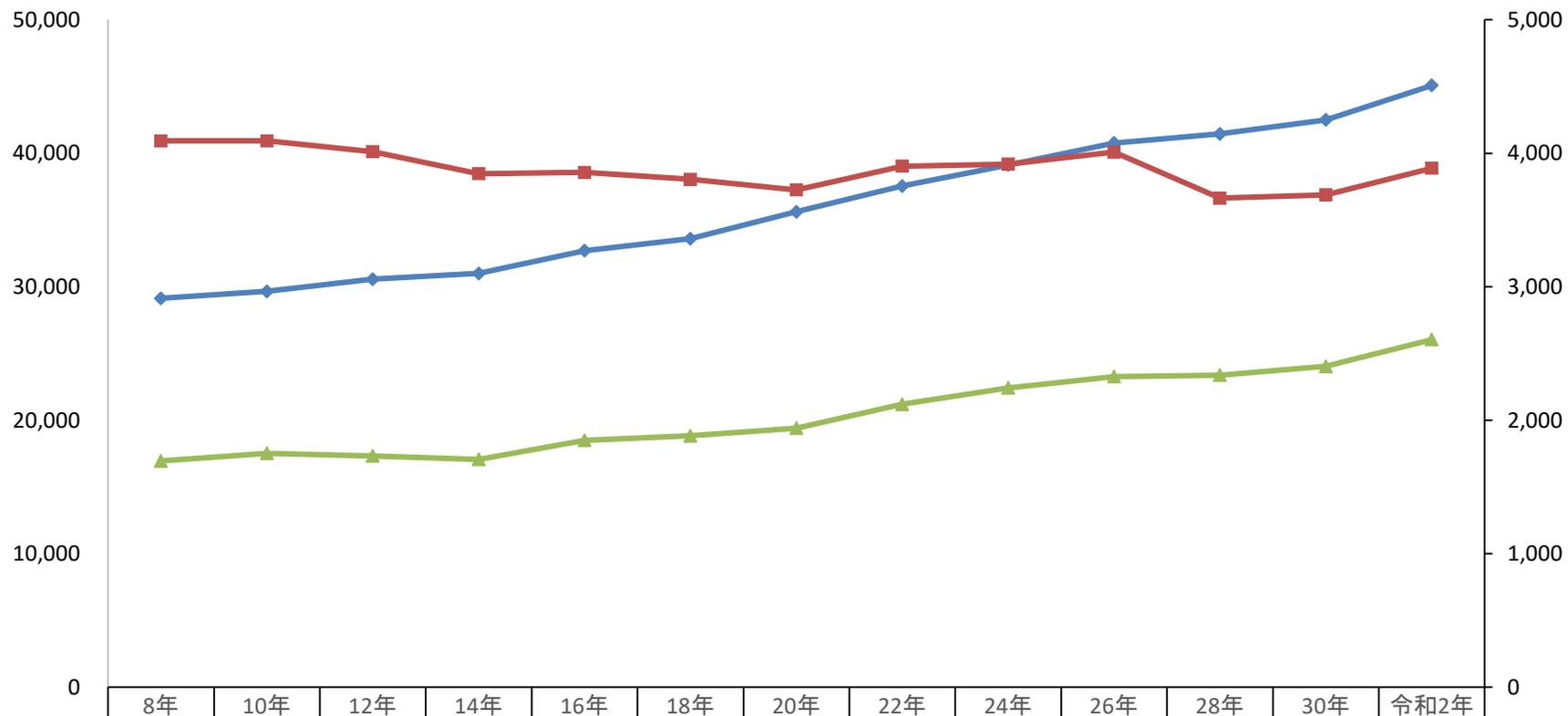
平成16年 平成18年 平成20年 平成22年 平成24年 平成26年 平成28年 平成30年 令和2年

■ 病院勤務	1,121	1,107	1,181	1,351	1,443	1,479	1,480	1,530	1,639
■ 診療所勤務	729	776	760	769	799	848	858	874	965
計	1,850	1,883	1,941	2,120	2,242	2,327	2,338	2,404	2,604

出典：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」

2 小児科医師数について（推移②）

【東京都における医師数 推移】

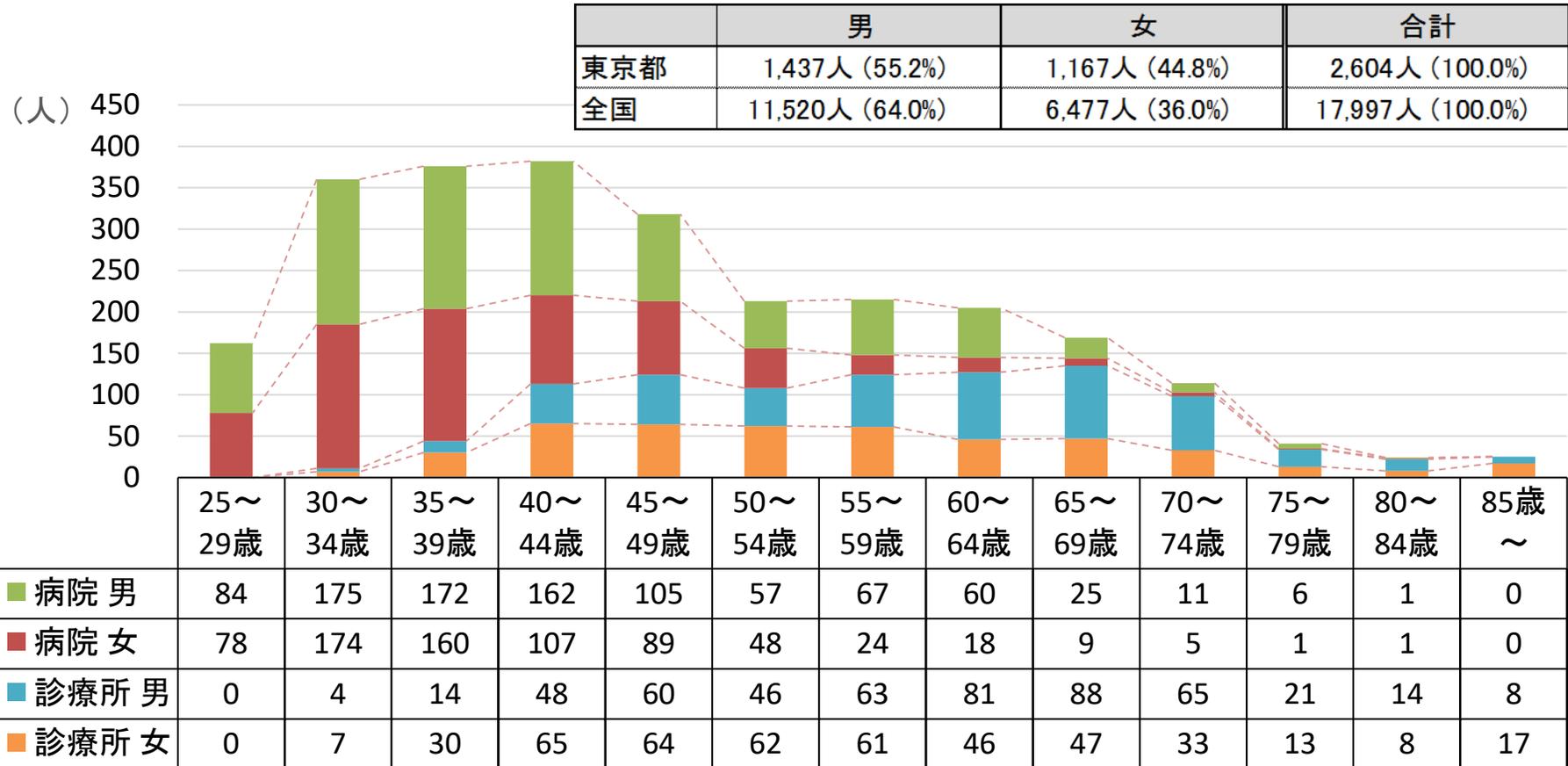


—◆— 医師総数	29,136	29,648	30,565	30,995	32,698	33,604	35,616	37,552	39,116	40,769	41,445	42,497	45,078
—■— 小児科(複数回答)	4,093	4,093	4,012	3,847	3,857	3,805	3,725	3,903	3,918	4,008	3,664	3,688	3,888
—▲— 小児科(主たる診療科)	1,695	1,752	1,732	1,706	1,850	1,883	1,941	2,120	2,242	2,327	2,338	2,404	2,604

出典：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」

2 小児科医師数について（年齢・男女別）

【東京都における主たる診療科を小児科とする医師数 年齢区分別 男女別】

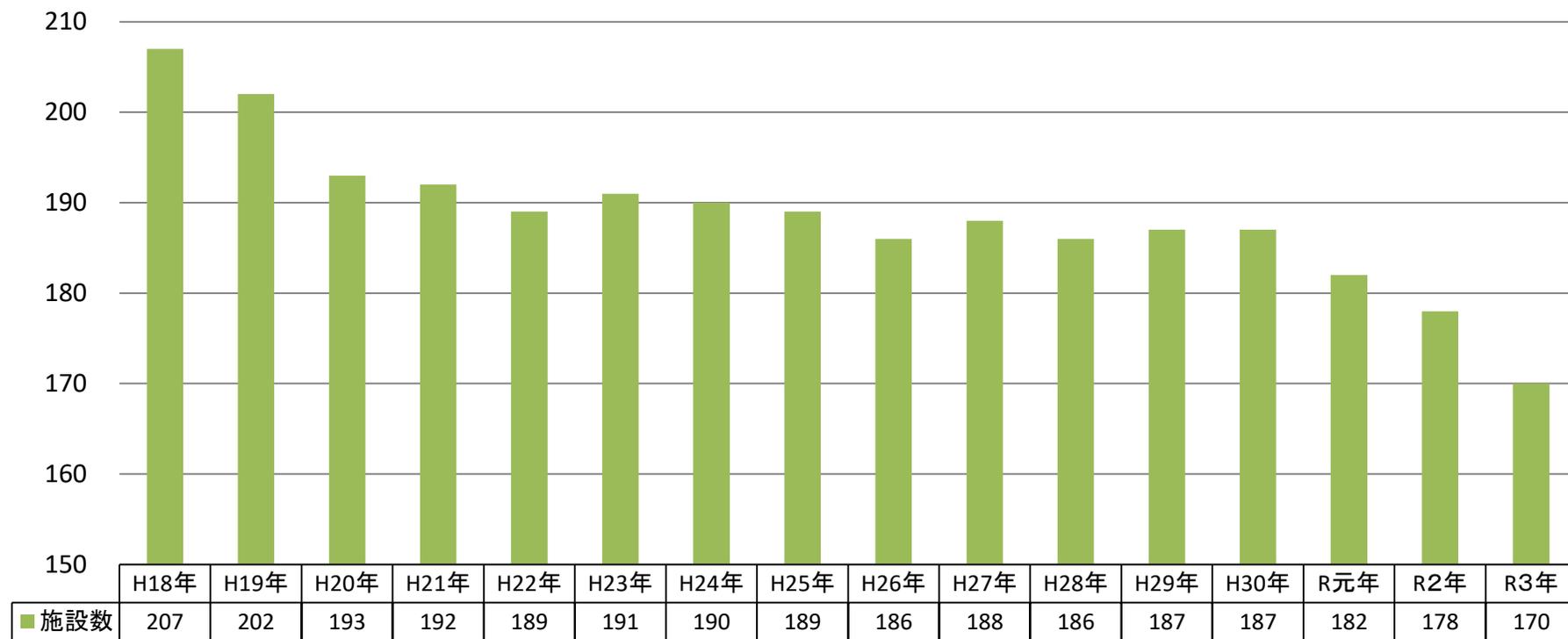


出典：厚生労働省「令和2年 医師・歯科医師・薬剤師調査」

3 小児科標ぼう医療機関数について（病院）

【小児科を標ぼうする一般病院数の年次推移】

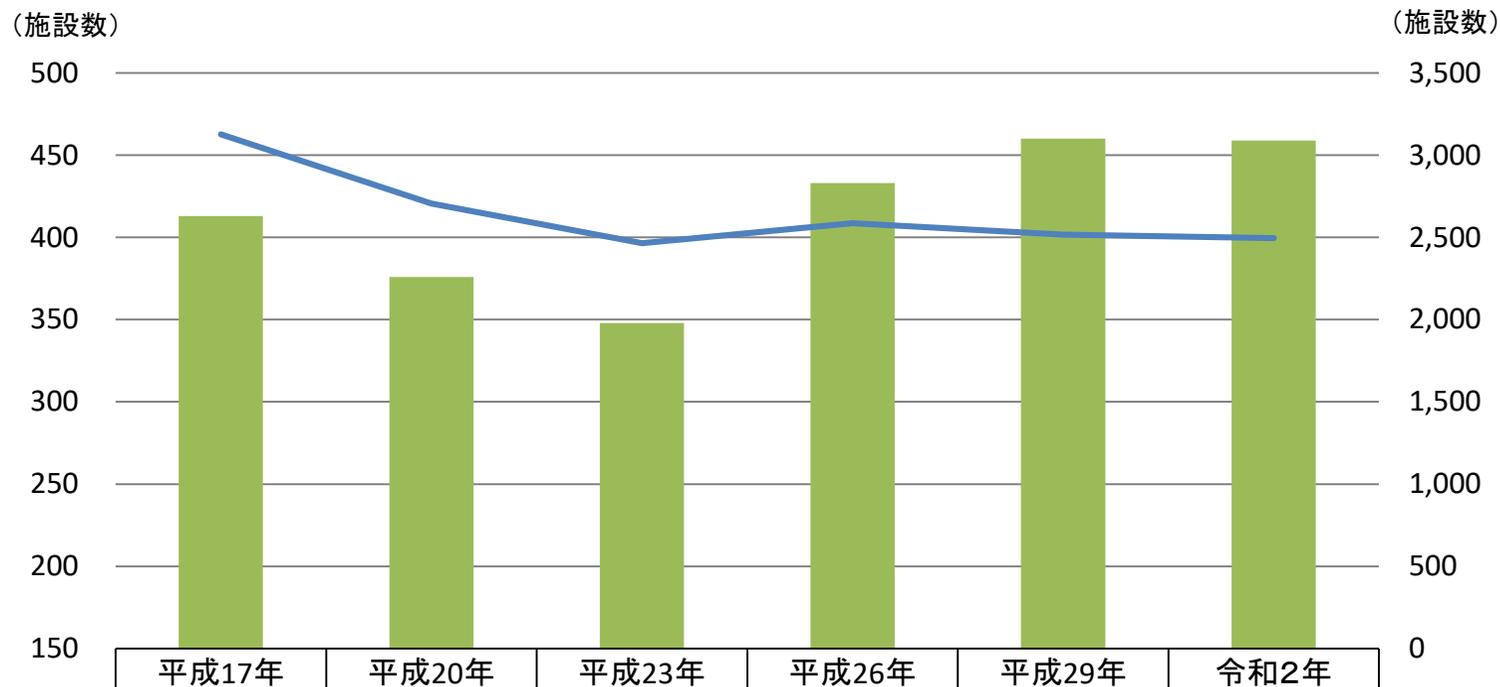
（施設数）



出典：厚生労働省「医療施設（動態）調査」

3 小児科標ぼう医療機関数について（診療所）

【小児科を主たる診療科目とする診療所数の年次推移】



■ 主たる診療科目を小児科	平成17年	平成20年	平成23年	平成26年	平成29年	令和2年
■ 主たる診療科目を小児科	413	376	348	433	460	459
— 小児科を標ぼう	3,126	2,706	2,465	2,587	2,516	2,496

出典：厚生労働省「医療施設（静態・動態）調査」

4 小児の死亡の状況（死亡率）

資料：厚生労働省「人口動態調査」
 東京都福祉保健局「人口動態統計」
 東京都総務局「住民基本台帳による東京都の世帯と人口」

乳児死亡率（0歳、出生千対）

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
東京都	1.7	1.4	1.4	1.7	1.6
全国	1.9	1.9	1.8	1.7	1.8

幼児死亡率（1～4歳、人口十万対）

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
東京都	17.9	15.5	13.9	12.6	10.8
全国	17.8	16.8	17.5	12.8	13.8

児童死亡率（5～9歳、人口十万対）

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
東京都	8	6.4	7	5.6	4.6
全国	6.8	7.1	7.5	6.1	6.7

児童死亡率（10～14歳、人口十万対）

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
東京都	7.1	9.1	8.4	9.4	10.4
全国	8.1	8.7	8	8	8.3

4 小児の死亡の状況（死因）

【令和3年度の年齢区分別 主な死因】

	死亡数	第1位			第2位			第3位		
		死因	死亡数	割合	死因	死亡数	割合	死因	死亡数	割合
乳児（0歳）	160人	先天奇形，変形及び染色体異常	58人	36.3%	周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	25人	15.6%	胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	7人	4.4%
幼児（1～4歳）	45人	先天奇形，変形及び染色体異常	12人	26.7%	悪性新生物＜腫瘍＞	4人	8.9%	周産期に発生した病態	3人	6.7%
児童（5～9歳）	24人	悪性新生物＜腫瘍＞	6人	25.0%	先天奇形，変形及び染色体異常	3人	12.5%	心疾患（高血圧性を除く）	2人	8.3%
児童（10～14歳）	53人	自殺	13人	24.5%	不慮の事故	11人	20.8%	脳血管疾患	4人	7.5%

5 配置図

東京都内における小児救急医療体制

(令和5年7月1日現在)

